

木造家屋建築工事における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	16~ 17	会社内資材置場にて片付け作業中、固定されている足場板を分解するために常時ハンマーを使用する。その際に保護手袋を着用していたが、誤って左手親指を強打した。	20	—
1	11~ 12	倉庫にて、美装工事にて使用していた美装道具一式を棚の上に後片付けするため、高さ180cmの脚立にのったところバランスを崩し、左に倒れそうだったので脚立から飛び降り、左膝に痛みがはしった。当初は我慢できる程度だったので様子を見ていたが、痛みが増していった。	31	—
2	13~14	個人宅外壁塗装工事において、養生シートを現場から両手に持ち、道路に徒歩で運搬中、敷地から道路の段差の階段（2段）を下りる途中で躓き、右足首を受傷し、捻挫と一部剥離骨折の診断を受けた。	59	—
3	11~12	新築工事現場にて、テラス土間から材料を取りに行く時、40cmぐらいの高さの土間から降りたとき、足元に石ころがあるのに気付かず、石ころを踏み転倒し右足首を痛めた。	57	1 ~ 9
3	11~12	新築工事現場にて、階段下の床に置いていたヘルメットを取って、立ち上がった時に階段の段板で頭を打った。	35	1 ~ 9
4	16~ 17	倉庫にてアパート改修工事の準備作業中、高さ約90cmの所から降りた時に足元の段差につまずき、左足に怪我をした。	22	1 ~ 9
	13~	建築現場で玄関天井クロス施工中、バランスを崩して右手首を手の甲から壁に押す		10

4	14	ような形でひねり負傷した。	44	～ 29
4	14～ 15	六尺脚立にてパワーコンディショナー取付枠を設置後、パワーコンディショナー（30kg）を枠に引っ掛ける際、脚立上で前のめりにバランスを崩し、パワーコンディショナーを支えきれず、設置場所よりパワーコンディショナーが落下し、後頭部に接触し頭部を裂傷した後、土間コンクリート上に飛び降り左足首を痛めた。当初打撲の診断だったが、その後ヒビが入っているとの診断を受けた。尚、脚立上への被災者に別の作業イオンが手渡しでパワーコンディショナーを渡し、作業員は、内部作業場所に移動した。	30	1 ～ 9
5	11～ 12	新築工事中、足場で樋を取り付ける際、足場の3段から4段へ上がる時に足場横の下の屋根に頭が当たり、衝撃で2段足場まで落ちた。	53	1 ～ 9
6	11～ 12	当社請負先の建築現場にて、1階部分にかけた脚立の下部部分から降りる時に足がぶつかってしまい、左足を負傷した。	63	1 ～ 9
6	13～ 14	住宅新築工事現場にて作業中、整地している時に、仮設電気のポールによそ見をして誤って接触し、バランスを崩して足場の歩み板に背中からぶつかった。	42	1 ～ 9
6	8～9	朝、現場へ行く準備として、外壁材のトタン（長さ1m、幅35～36cm）を18枚以上（重さ25～26kg）を持って、腰を曲げたままの状態、車の奥へ積み込む際に腰部を負傷した。	29	1 ～ 9
7	13～14	作業場において、新築工事（元請）に使用する鉄板をパワーショベルを使用して、貨物車に積み込む作業中、鉄板を積み込む際に使用するフックを誤って外してしまい、落下した鉄板に右足の甲から先を挟まれてしまい骨折してしまった。	68	1 ～ 9
7	15～16	駐車場でのローラーの後片付け作業中、一斗缶の上でローラーを皮スキで塗料をしごく作業中にローラーがとれて、いきおいよく一斗缶の鋭利なところへ指があたり指をケガしてしまった。	41	1 ～ 9

7	14~15	倉庫外壁修繕工事作業中、トタン打ちをしていて、乗っていた脚立（高さ約2m）からバランスを崩して飛び降りた際、着地時に左足を負傷した。	62	1 ~ 9
7	16~17	住宅解体現場で、コンクリート製布基礎の解体作業を人力で行っていた。大ハンマーを振り下ろした際、勢いのあまりバランスを崩し、ハンマーを握っている左手人差し指第1関節上部を、布基礎立ち上がり角に誤って打ちつけ負傷した。	75	1 ~ 9
7	11~12	基礎上部にて作業員が2人1組で墨出し作業を行っており、メジャーで計測するため、被災者が後方へ後ろ向きのまま歩行しようとしたとき、足元の鉄筋に躓いてバランスを崩し、背面方向の基礎掘削機（根伐り底）へ右片足を着地した。その際、残った左足太腿裏側の差し筋（立上がった鉄筋）に接触し、鉄筋キャップが外れ、太腿に刺さり、裂傷した。原因は、当時、基礎周りの埋め戻しが完了しておらず、足元の不安定な状態で作業を行ったこと、足元周辺の確認を行わずに危険な後ろ向き移動を行ったこと、作業開始前のリスクアセスメントが徹底されてなかったことが考えられる。	36	1 ~ 9
9	18~19	当社工場構内に於いて、雨が降りそうな天気予報なので、トラックの荷台に載っている外壁用角浪鉄板の束を降ろそうとしている作業中、トラックの側板を倒して、荷台の上に勢いよく飛び渡ろうとした際、薄暗くなってきていた事もあり、角浪が荷台より少し丈突き出ている事に気付かず、角浪の端部に左足の膝ねんぼの上を激突させてしまい、負傷した。	32	10 ~ 29
9	10~11	駐車場復旧工事で使用する機械を、作業場にて機械のエンジンをかけようと紐を引き上げた先に、トラックの荷台があり右肘をぶつけて負傷する。	19	1 ~ 9
10	15~16	農業用倉庫新築工事現場において、両手に資材を持ちながら歩いていたところ、足が滑り足場のパイプに胸を強打した。	67	1 ~ 9
10	11~12	現場で床タルキに釘を打っていた時、手が滑って打ち損じて、左手の親指に金槌があたり内出血した。	32	1 ~ 9

11	9～ 10	新築工事の現場において作業中材料を取りに下りる際、階段を使わず1m下の踊り場に飛び降り勢い余って板を破壊し、3m下に落下し、負傷した。	54	1 ～ 9
11	14～ 15	建築途中の戸建に現場調査に行き玄関で30cm程の高さを降りる際に、防水シート下の水道配管を踏みバランスを崩して左足首を捻った。	39	10 ～ 29
11	16～ 17	住宅新築現場で、作業終了後トイレへ行こうとした際、安全通路の前で、外装大工が作業をしていた為、邪魔をしては悪いと思い境界のブロック（約H1200）に上ってトイレへ行き戻って来た際同じようにブロックの上から飛び降りて着地した時に、バランスを崩して足をひねり負傷する。	24	10 ～ 29
11	8～9	一戸建て住宅建設現場にて上棟作業を開始した際、大工が外部足場上で、木材を大ハンマーで打ち込む準備をしていたところ、バランスを崩して転落しそうになった。結果、自身の判断で1.8m下の1階床に飛び降りたところ、着地には成功したが、衝撃が両足に走り、診断の結果骨折が判明した。	39	1 ～ 9
11	16～ 17	個人宅の軒先板張替工事にて足場解体のため、脚立で上に上ろうとしていた。脚立の2段目～3段目の途中でバランスを崩し飛び降りたところ、ちょうどその場にあったプランターに足を突っ込み、右足を捻った。その際に右足踵を骨折、及び筋を損傷したものである。	48	50 ～ 99
12	14～15	コンクリート造り倉庫解体作業中、壁が予想外のタイミングで倒れてきて、被災者は逃げようと1.8m高の足場（ローリングタワー）から飛び降りた際、右足首を骨折してしまった。	45	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html